わが心のふるさと富士山 ❹

温水プール

海江田(かいえだ)恵美子さん
大渕一六八―五二

大阪で生まれ育った私には、富士山は遠い存在でした。近くに来たときには、きょうは見えますようにと祈ったものです。

それがこの富士市に引っ越して来て、こんなに間近にいつも眺められるようになったのです。最初のころきれいに見えたときなど、「わあ、きれい！」と感激して見とれていました。最近は、最初ほどの感動はなくなりましたが、やはり富士山は気になる山です。

型染で、富士山を染めることになりました。毎週富士山を眺めながら通う、体育館近くの温水プールと一緒に染めてみました。

こちら編集室

一目見たときから、いい顔してるなあと思う人がいる。街の中でも、取材先でも――。

どうしたら、あんな風になれるんだろう。たくさんの喜怒哀楽をどう受けとめ、どんな風に生きてきたんだろう。

人間って、顔の造作よりもっと大事な何かがあるんだってことを、ヒシヒシ実感。最近顔のことを気にしだした娘にも、よ～く教えてやろう。 (十人並みの母)

求む 料理人

一番楽しくて大変な取材は、「男の料理」。楽しいことは、今までの取材がすべて試食つきだったこと。大変なのは、料理人を探すこと。

「試食させてください」なんて、ぜいたくは言いません。人知れず、料理をつくる喜びに浸っている男性よ！ ぜひ、広報広聴課☎51－0123(内線2823)へご連絡ください。

広報ふじは環境にやさしい再生紙を使っています

発　行・富士市役所　富士市永田町1丁目100番地　☎51－0123
編　集・総務部広報広聴課

人　口　228,737人　男　114,173人　女　114,564人
世帯数　70,083世帯　(7月1日現在)